



『超伝導研究を支えるシミュレーション技術』

近年の計算機性能の飛躍的な向上と簡便なシミュレーション・ソフトウェアの開発などにより、超伝導技術研究開発でもシミュレーション技術の活用が広がっています。理論と実験の架け橋となるプラットフォームを活用し、実験の一部をシミュレーションに置き換えたり効率的な実験方法を示すことで、研究開発に要するコストと時間を削減することができます。本研究会では、民間企業のエンジニアの方々をお招きし、様々なシミュレーション技術とその関連技術の基礎から最新ソフトウェアの紹介などについてご講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。



申込サイト

- 主催：応用物理学会 超伝導分科会
- 協賛：低温工学・超電導学会、日本物理学会、電気学会
- 後援：産業技術総合研究所
- 日時：2024年7月25日(木) 13:00 ~ 16:50
- 場所：産総研臨海副都心センター別館会議室1 <https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/>
+ オンライン(ハイブリッド開催)

プログラム (敬称略、講演タイトルは仮題を含む)	
13:00~13:05	開会挨拶 超伝導分科会幹事長
13:05~13:45	COMSOL Multiphysics® を用いた超伝導シミュレーション 福川 真 (計測エンジニアリングシステム)
13:45~14:25	LTspice を用いた回路シミュレーション 佐々木 正博 (マクニカ)
14:25~15:05	第一原理計算・分子動力学計算ソフトウェアのご紹介 西原 慧径 (アドバンスソフト)
15:05~15:25 休憩	
15:25~16:05	LabVIEW を用いた計測制御 畑野 淳一 (中央電機計器製作所)
16:05~16:45	AI 技術 河尻 耕太郎 (エイゾス)
16:45~16:50	閉会挨拶 超伝導分科会幹事

参加費(消費税込、資料代込)：

超伝導分科会会員 ¥2,000、応用物理学会または協賛団体会員 ¥3,000、非会員 ¥4,000、学生 ¥1,000

参加申込方法：7月23日までに、次のHP(上記QRコード)よりお申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4273351170551200&EventCode=P525331362

会場スペースの都合上、申込数の上限に達した場合は先着順で締め切りとなりますのでご注意ください。

担当・問合せ先： 小黒 英俊 (東海大)、作間 啓太 (山梨大)、末吉 哲郎 (九産大)、
馬渡 康徳 (産総研) y.mawatari@aist.go.jp